

令和 4 年 6 月 1 日
岐阜労働基準監督署

「ゼロ災チャレンジ 2022」実施要項

1 趣旨

岐阜労働基準監督署管内における労働災害の発生状況は、令和 3 年において死傷者数 906 人（休業 4 日以上之死傷災害。以下同じ。）、死亡者数 10 人といずれも過去 10 年間で最多となりました。令和 4 年においても死傷者数は 4 月末時点で 291 人と前年を 24.9%上回るペースで推移し、死亡者数は現在 3 人であるものの 4 月と 5 月に連続して死亡災害が発生しており、予断を許さない状況にあります。

昨年以降に発生した労働災害をみると、不安全な行動による転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害が多くを占め、その背景としては、コロナ禍により安全衛生活動が低調となったため、日常的な作業に潜むリスクに気付きにくくなったことから生じたものと考えられます。一層の労働災害防止を進めるためには、経営者・管理者、従業員の皆様方の安全意識や危険の感受性を高めることでリスクを洗い出し、その低減に取り組む必要があります。

このため、岐阜労働基準監督署では、今後の労働災害防止を図るため、管内の事業場に「ゼロ災チャレンジ 2022」（以下「チャレンジ」という。）の参加を呼びかけることとしました。事業場の皆様方には、このチャレンジを通じて労働災害防止に取り組むことを内外に表明し、次の重点取組事項を集中的に実施していただくこととします。

重点取組事項

令和 4 年 7 月 1 日から同年 10 月 7 日までの 99 日間のゼロ災を達成するため、次の事項に取り組んでください。

- 1 安全意識の高揚
(安全研修・大会の開催やポスターの掲示等)
- 2 危険な箇所・作業の洗い出しとその見直し
(安全パトロール、危険予知・ヒヤリハット活動の集中的な実施等)
- 3 転倒災害、墜落災害、はさまれ・巻き込まれ災害の防止

2 取組期間

令和 4 年 7 月 1 日（金）から同年 10 月 7 日（金）までの 99 日間
(全国安全週間本週間の初日から全国労働衛生週間本週間の末日まで)

3 ゼロ災チャレンジの実施事項

(1) 参加事業場の実施事項は次のとおりです。

- ① チャレンジに参加を希望する事業場は、岐阜労働基準監督署 安全衛生課あて別紙様式によりファクシミリで申し込みをすること（令和4年7月15日（金）まで）。
- ② 事業場内で、従業員に対して、①チャレンジの趣旨、②具体的な取組事項等について周知すること。
- ③ 期間中のゼロ災をめざし、重点取組事項を展開すること。
- ④ 期間終了後に岐阜労働基準監督署から送付する簡易なアンケートの回答に協力すること。

(2) 岐阜労働基準監督署の実施事項は次のとおりです。

- ① チャレンジの趣旨・参加を管内の事業場・業界団体等に広く呼びかけること。
- ② チャレンジ参加事業場を周知すること（岐阜労働局ホームページへの掲載）。
- ③ 期間終了後に参加事業場に簡易なアンケートを行い、その結果を参加事業場に周知すること。
- ④ 災害が多発する食料品や金属製品製造業、建設業等に対する労働災害防止を主眼とした集中的な監督指導等の実施
- ⑤ 労働災害防止を目的とした講習会の開催

4 事業場におけるチャレンジの活用等

(1) 安全衛生活動の活性化

(2) 求職者に対するアピール

労働災害のない安全・安心な職場づくりに取り組む企業であることを社内外にアピールすることができます。

具体的には、ハローワーク岐阜との連携を図ることで、

- ① 求人票に「ゼロ災チャレンジ2022参加事業所」の表示を行います（ご希望の事業所のみ）。

例 「 **【ゼロ災チャレンジ2022参加事業所】**

労働災害の防止のため、安全・安心な職場づくりに取り組む意欲的な事業所です。」

- ② ハローワーク岐阜公式ツイッターによる事業所紹介を行います（ご希望の事業所のみ）。

5 事務局

「ゼロ災チャレンジ2022」の事務局は岐阜労働基準監督署 安全衛生課に置きます。

岐阜労働基準監督署 安全衛生課 電話 058-247-2369